

ともだち



人と人との出会いを大切に
笑顔の輪を広げましょう

たかさき し こくさいこうりゅうきょうかいかいほうだい とう
高崎市国際交流協会会報第123号

2025.8

◆トピックス(2025年^{ねん}6月～7月)

■郷土料理体験と国際交流会～

6月1日、中央公民館^{ちゅうおうこうみんかん}で、群馬県の郷土料理・おきりこみ作りを体験する交流会が開催され、外国人5人、日本人7人の計12人の参加者が、4つのグループに分かれて、おきりこみを作りました。野菜の切り方をイラストで紹介するなど外国の方に配慮したレシピが用意されましたが、



日本人でも初めておきりこみを作るという人がほとんどでした。参加者からは「地域の食文化の豊かさや良さ、大切に気づくことができた」と感想が寄せられました。

(事業部会)

■COOL TAKASAKI発信事業～藍染体験～

COOL TAKASAKI 発信事業は、高崎の魅力に参加者に SNS で発信してもらう事業です。今回紹介されたのは、高崎市染料^{たかさきしせんりょう} 植物園と藍染体験。6月21日に外国人を対象に行われ、アメリカや中国の出身者10人が、学芸員の説明を聞きながら、ハンカチかバンダナを選んで、藍染に挑戦しました。会場内は、英語と日本語が飛び交い、とても和やかな雰囲気、参加者同士の交流も促進されました。参加者からは「とても説明がわかりやすく、楽しかった」と感想が寄せられました。

(事務局)



■多文化サロン～ポーランド～

7月5日、中央公民館^{ちゅうおうこうみんかん}で、ポーランドを紹介する多文化サロンが開催され、21人が参加しました。ゲストはポーランド出身のアンド



リュー・クザイさん。スライドでポーランドの名所、有名人、歴史が紹介された後、ポーランドのお菓子(ジンジャーブレッド、ケシの実のロールケーキ)やソーセージ、コーヒー等の試食が行われました。「ポーランドが身近になった」「お菓子がおいしかった」といった感想が参加者から寄せられました。

(都市友好部会)



■春の日本語教室

5月10日から7月30日まで春の日本語教室が開催され、41人の支援者が97人の学習者の学びを手伝いました。

(コミュニケーション支援部会)



■国籍別学習者数(延べ人数)

中国	22	インドネシア	4	日本	1
フィリピン	14	イギリス	2	ブラジル	1
台湾	9	アイルランド	2	ペルー	1
ベトナム	9	カメルーン	2	ギニア	1
スリランカ	6	韓国	2	モロッコ	1
パキスタン	5	カナダ	2	インド	1
ネパール	5	シンガポール	1	ニュージーランド	1
アメリカ	4	マレーシア	1		
合計 23 か国 97 人(対面 89 人、オンライン 8 人)					

◆おしらせ(2025年8月～10月)



■秋の日本語教室

生活に役立つ日本語、文化や習慣、生活のルールなどを小さなグループがマンツーマンで学べます。学習をお手伝いするのはボランティアで、専門家ではありません。いずれのコースも計10回です。

●対象=日本語を母語としない人 ●費用=500円 ●申込=8月1日(金曜日)～20日(水曜日)の間に協会ホームページから(教室の状況により、お断りする場合もあります)

教室名	コース名	時間	期間
ちゅうおうこうみんかん 中央公民館	かようび 火曜日	ごぜん 午前10時～11時30分	9月9日～11月25日
	もくようび 木曜日	ごご 午後7時～8時30分	9月11日～11月13日
	どようび 土曜日	ごご 午後1時30分～3時	9月13日～11月15日
しもなか いこうみんかん 下中居公民館	すいようび 水曜日	ごご 午後6時30分～8時	9月10日～11月12日
ぐんま ふくし かいかん 群馬福祉会館	げつようび 月曜日	ごご 午後7時～8時30分	9月1日～12月1日
しんまちぶん か 新町文化 ホール	すいようび 水曜日	ごぜん 午前10時～11時30分	9月3日～11月5日
	どようび 土曜日	ごぜん 午前10時～11時30分	9月6日～11月29日

■第33回国際交流の集い開催決定

10月12日(日曜日) 午前11時～午後3時
たかさき とんやまち
ピエント高崎(問屋町)



詳しい内容は次号でお知らせします

～運営ボランティア募集～



- 活動時間=午前9時～午後4時
- 内容=文化体験ブースやステージ補助、会場整理など
- 申込=9月19日(金曜日)までにメールで事務局へ

～飲食店募集～

●内容と対象=世界の料理(県内の飲食店)、高崎市の郷土料理(市内の飲食店) ●定員=15(屋内5、屋外10、応募多数の場合は選考) ●費用=無料(ただし運営ボランティアへの割引サービス等を提供してください)



●申込=8月15日(金曜日)午後5時までに、所定の申込書類を事務局へ提出。 ※詳しくは協会HPから募集要項をみてください

～インターナショナルバザー用品募集～

【募集内容】海外の雑貨や衣料品: アクセサリー、ピンバッチ、ポストカード、置物、カトラリー、Tシャツ、帽子、スカーフなど 和小物: 扇子、箸置き、巾着、手ぬぐい、風呂敷など

※未使用の物をお願いします

※食品(酒類を含む)、化粧品、サイズの大きいもの、古着、本、硬貨は受け付けできません

【受付方法】9月29日(月曜日)～10月8日(水曜日)の間に国際交流コーナーへ持参もしくは郵送してください ※郵送の場合は事前連絡の上、送料の負担をお願いします ※品物は全て無償の提供とし、品名と国名をお知らせください

■売上金の寄付先は検討中です。昨年は「プランインターナショナルジャパン」と「高崎市ウクライナ避難民支援」に寄付しました



私は中国から日本へ留学し、現在は社会人として日本で働いています。この数年間、日本社会で暮らす中で、たくさんの「違い」に出会ってきました。そして今、私は日本人の皆様の一つ伝えたいことがあります。

それは、「違いは不快なものではなく、学びと気づきの源である」ということです。

たとえば、電車の中での静けさ。日本では静かにするのがマナーとされていますが、中国では友人同士で会話をを楽しむ光景が日常的です。私たち中国人が時に声が大きくなってしまうのは、決して無礼なのではなく、むしろ「親しみを込めている」「感情を率直に表している」証なのです。

また、日本では「空気を読む」ことが美德とされますが、私たち中国人にとっては、はっきりと言葉にして伝えることこそが、相手への誠意だと感じる場面も多いです。



日本語教室で勉強する姚さん(中央)



^{よう}姚さんのプロフィール

はじめまして、姚丹と申します。出身地は中国の遼寧省撫順市です。2020年4月に群馬大学の博士課程に入学し、2023年3月に卒業しました。今、高崎市内で働いています。

このような文化の違いに最初は戸惑いましたが、今では「違うことは悪いことではない」と心から思えるようになりました。大切なのは、相手の背景を知ろうとすること。そして、自分の文化も相手に伝えようとする勇気です。

私たちは違う文化の中で生きてきたからこそ、お互いにとっての「当たり前」に気づき、互いをより深く理解するチャンスがあります。

私はこれからも日本で暮らしていく中で、違いを恐れず、橋を架ける存在でありたいと思います。

～広報宣伝部会のメンバーが読んで質問しました～

1. なぜ群馬大学に留学しようと思ったのですか？

中国の大学と群馬大学には交流プログラムがあります。私はそれに応募して参加し、群馬大学で半年間の交換留学を経験しました。その半年間で、交流先の研究室の先生の研究内容に強い興味を持ち、交換プログラム終了後、入学試験を受けて群馬大学に残ることにしました。専攻は電子情報数理で、現在は半導体研究に従事。大学で学んだ理論知識は実務でも十分活用できています。

2. 日本語はどのように習得しましたか？

子どもの頃から日本のアニメが大好きで、それがきっかけで日本語に強い興味を持ちました。大学時代にも日本語の授業を選択していましたが、本当に本格的に学び始めたのは日本で生活してからです。群馬大学の日本語講座に参加したり、地元の日本語教室に通ったりしました。「一期一会」という言葉を知り、時間や人との出会いをより大切にするようになりました。

3. 日本で暮らして、どんな学びがありましたか？ 姚さんの個人的なエピソードを教えてください

「空気を読む」文化です。会議で「ちょっと難しいですね」という表現が、実は「絶対無理」を意味したり、相手の本音を言葉以上に「間」や「態度」から読み取る必要性に最初は戸惑いました。大家さんに「検討します」と言われたら、ほぼ断りの意味と学びました。「No」を直接言わない代わりに、相手の表情や言い回しのニュアンスに敏感になることが大切だとわかりました。

4. 余暇は何をしていますか？

普段はランニングやバドミントン、水泳をするのが好きです。長い休みがある時は、旅行に出かけるのが好きです。

5. 日本で行ってみたいところはありますか？

最近、四国に行こうと思っています。日本に来てからずっと関東地方で生活し、学び、働いてきました。他の地域もぜひ見てみたいです。



こんにちは。私はポストラド・エドガー・アルベルトと申します。エドガーと呼んでください。ファイナルファンタジー6(FF6)の主人公と同じ名前です。FF6 は日本のゲームなので、日本では非常に有名ですね。でも、FF6 の「エドガー」は、この文章を書いている「エドガー」よりもハンサムです。

私の趣味は、ギターを弾く事、科学の本を書く事、野菜を育てる事、YouTube など科学ビデオを作る事です。1989年に初めて日本を訪れ、前橋市で10日間のホームステイを体験する機会が与えられました。最初に観光に行ったのは高崎市にある観音山と榛名湖でした。その後、群馬の美しい場所をいくつか訪れました。高崎市には文化遺産や美しい景色がたくさんあるというのが第一印象でした。日本に行くのは子供の頃からの夢の一つでした。前橋市や高崎市などを訪れ、良く整備されているという印象を受けました。

1993年から前橋市や高崎市で働く機会に恵まれ、以来32年間、様々な企業で勤務してきました。そして、いつも日本語のチェックを手伝ってくれる日本人の妻がいます。良い点は、妻がとても忍耐強い日本語の先生だということです。そうでなければ、妻はいつも私に腹を立てるでしょう。なぜなら、私の日本語は本当に下手だったからです。私の日本語は下手なので、妻と口論しても勝てません。でももしかしたら、それが私の平和な結婚生活のためには良い事なのかもしれません。

私の日本での経験が高崎市に住む外国人の方々の役に立つ事を願っています。私の母語はタガログ語です。フィリピン生まれなので、高崎市に住むフィリピン人が市役所に相談に来た時にお手伝いする事が出来ます。英語もできますよ。高崎市外国人相談支援センターでは皆さんの色々な相談をお待ちしています。

外国人相談支援センター



高崎市役所2階

TEL 027-321-3100 MAIL fr-support@city.takasaki.gunma.jp

外国語で生活相談ができます

【対応言語と相談日】

時間：午前 8 時 30 分～午後 5 時 Hours: 8:30 a.m. - 5:00 p.m.	月曜日 Mon.	火曜日 Tue.	水曜日 Wed.	木曜日 Thu.	金曜日 Fri.
English 英語	●	●	●	●	●
中文 中国語	●			●	
Tiếng Việt ベトナム語					●
नेपाली नेपाल語					● 午前 8 時 30 分～12 時 30 分
Tagalog タガログ語(フィリピン語)			●		
Português ポルトガル語	●			●	
Español スペイン語		●			

◎ビデオ通話通訳を使って相談もできます。(17言語対応)

行政書士による外国人相談

Consult with a specialist (gyoseishoshi) about immigration matters, etc.

日時：毎週水曜日(祝日・年末年始を除く)、午後1時～5時

内容：在留資格や国際結婚・離婚、永住・帰化、就労、起業など

対応言語：English英語・Tagalog タガログ語(フィリピン語)

◎その他、ビデオ通話通訳を使って相談もできます(17言語対応)

会員を募集しています

- 会員期間=4月1日～翌年3月 ●会費=個人 2,000円・法人その他の団体 10,000円(10月以降の新規入会は半額) ●詳しい入会方法は事務局におと問合わせください

ラジオ
たかさき
高崎



76.2

マイタウン高崎

【放送日時】

第1・3金曜日

午前9時15分～9時25分

再放送

午後12時30分～12時40分

【放送予定】

8月1日 秋の日本語教室

8月15日 多文化サロン～ポーランド～

9月5日 多文化講師

9月19日 国際交流の集い

ともだち

発行 高崎市国際交流協会

〒370-8501 高崎市高松町 35-1

TEL 027-321-1201

FAX 027-330-1819

MAIL office@takasaki-irs.org

HP http://www.glocalfive.net/tirs

発行日 令和7年(2025年)8月